

# 「もつ」の意味分析

藤 森 秀 美

## 要 旨

本稿は「もつ」の意味を明らかにすべく、コーパスで収集した用例を分析したものである。分析対象は他動詞「もつ」とし、自動詞の「もつ」は分析対象外とした。「もつ」は「持つ」と漢字表記されることが多いが、本稿では、平仮名で表記されたものと漢字表記されたものを区別せず、分析する。本稿では、他動詞「もつ」を複数の意味を有する多義語であると捉え、〈人や動物が具体物を手にとる〉、〈人が具体物を保持する〉、〈人が具体物を携帯する〉、〈人や動物が体の一部として器官を有する〉、〈人・組織が具体物を所有する〉、〈人が感情を有する〉、〈人が思考した結果を有する〉、〈人が力・権力を有する〉、〈人が能力を有する〉、〈物が性能を有する〉、〈人が資産を有する〉、〈人が方法・手段を有する〉、〈人が文字・文化・歴史を有する〉、〈人が物事を担当する〉、〈人が費用を負担する〉、〈生物・物・事柄・場所が生物・物・事柄・場所と関係を有する〉、〈人が機会を設ける〉、の17の意味に分けて分析し、別義間の関連性を明らかにした上で、多義構造を図示した。他動詞「もつ」は起点となる意味から大きく保持と所有という意味が派生している。意味の派生を動機づけるのはメタファーとメトニミーという比喩であるという仮説を示した。

## キーワード

多義語、多義構造、メタファー、メトニミー

## 目 次

1. はじめに
2. 辞書類と先行研究

3. 援用する概念について
4. 分析
5. 「もつ」の多義構造
6. おわりに

## 1. はじめに

本稿の目的は、他動詞「もつ」の意味分析である。「もつ」は「持つ」と表記されることが多いが、平仮名表記も行われる。本稿では、どちらで表記されても意味の違いはないとして分析を行う。

以下、本稿の構成について述べる。2節では、辞書類の記述と先行研究を概観する。3節では、援用する概念について述べる。4節では、多義語<sup>(注1)</sup>である「もつ」の分析を行う。5節では、「もつ」の17の別義間の関係を示す。6節では、本稿のまとめと今後の課題を述べる。

## 2. 辞書類と先行研究

本節では、辞書類の記述と「もつ」の先行研究として、原沢(1991)、古岩井(1993)、由井(2000)、国広(2006)をとりあげ、その内容を検討する。

### 2. 1. 辞書類

#### 2. 1. 1 一般辞書

北原編(2010:1729)には、他動詞「もつ」の意味として、次の12が語義として挙げられている。①指を使い手の中に入れて保つ。②身につけて保つ。たずさえる。携帯する。携行する。所持する。③あるものを所有する。特に、ある関係をもった者としてその人を所有する。④ある性質や特徴を備える。具備する。⑤心の働きによってもたらされる能力を備える。⑥物事に対してある感情や考えをいただく。⑦そのような過去・歴史・体験などを有する。～がある。⑧他とある関係を有する。⑨自分の仕事として受け持つ。担当する。⑩話し合いの場や機会を設ける。また、そのように

して話し合いを行う。⑪〈「時間を一」の形で、多く上に連体修飾語を伴って〉そのようにして過ごす時間を領有する。⑫料金を負担する。

一般辞書の性質上、仕方がないことだが、さまざまな意味が羅列されるにとどまり意味の相互関係が明らかになっていない。また、語義についても、主体が明示されていない。さらに、本稿で、別義7, 8, 11, 12とした〈人が思考した結果を有する〉、〈人が力・権力を有する〉、〈人が資産を有する〉、〈人が方法・手段を有する〉にあたる語義がない。

## 2. 1. 2 学習者向けの辞書

『基本動詞ハンドブック』では、他動詞「もつ」の意味として、次の11が語義として挙げられている。①人・動物が、ものを手に収める。②人・動物が、ものを握る。③人が、ものを携帯する。④人・動物が、特徴的な身体部位や傷を身体に有する。⑤人が、物事を自分のものとして有する。⑥人が、物事を引き受ける。⑦人が、人を管理する。⑧人が、性質・状態を有する。⑨ものが、性質・状態を有する。⑩人が、思考・感情などを有する。⑪人が、機会を設ける。

別義の派生関係も示されており、例文も豊富である。しかし、『基本動詞ハンドブック』で語義解説に多用されている概念「コントロール」は、定義されずに用いられており<sup>(注2)</sup>、あいまいさを残す記述となっている。コントロールは、一般的には、制御、調整、管制等、広い意味で用いられる語であり、語義の解説の際に用いるのであれば、定義をしたうえで用いるのが望ましい。

## 2. 2. 先行研究

原沢(1991:100)は、「もつ」の所有の意味のみに限定し、考察している。「もつ」は「生物」が「無生物」を所有する意味であるとされることがあるが、「動体」、「静体」という誤用論的用語を設定し、説明している。<sup>(注3)</sup>

古岩井(1993:5-7)は、「もつ」の意味を、状態を表す所有、精神的活動を表す所有、物理的具体活動を表す所有であるとし、「もつ」対象を表

すヲ格名詞を細かく分析している。

由井（2000：123）は、存在を表す「有る」とそれと近い意味を有する「もつ」の意味を比較し、「有る」は「存在の意味が出てくる」のに対して「もつ」は「存在のニュアンスは出にく」と述べている。

いずれも、所有の意味に着目した研究であり、他動詞「もつ」の意味を網羅的に明らかにしようというものではない。

国広（2006：267）は、北原編（2002：635）に掲載されている12の語義に、見坊ら編（2001：1295）の語義を1つ、作例を1つ加えた、計14の語義をもとに分析を行っている。「人間が指と手の平を用いて物を保持する動作」から、「〈保持〉が一般化され、抽象化されて行く方向をたどるもの」と「保持」という具体的な動作をいろいろと異なった角度から眺め、その一部分を焦点化するかたちで生じるもの」がまず派生し、そこからさらに別義が派生したとし、派生関係を図示している。しかし、北原編（2002：1635）の語義ありきの分析であり、広く用例を集めた結果の分析ではなく、本稿で別義7、8、11、12とした〈人が思考した結果を有する〉、〈人が力・権力を有する〉、〈人が資産を有する〉、〈人が方法・手段を有する〉、にあたる語義がない。<sup>（注4）</sup>

### 3. 援用する概念について

本節では、分析に用いる概念を例と共に示す。

#### 3. 1 援用する概念の定義

本稿では、「もつ」を多義語として分析するが、分析する際に、レトリックの概念であるメタファー、メトニミーを用いる。メタファー、メトニミーについては、初山（2002：65,76）の以下の定義に従う。

メタファー：二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

メトニミー：二つの事物の外界における隣接性、あるいは二つの事物・概念の思考内・概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

### 3. 2 メタファー、メトニミーの例

初山（2002：69）はメタファーについて「〔比較する（特に、共通点・類似点を見出す）という認知能力を基盤としている〕とし、外見の類似性に基づくものと、抽象的な類似性に基づくものに分類している。

初山（2002:65-66）では、外見の類似性に基づくメタファーとして、「正月休みに食べすぎて、ブタになってしまった。」（例文5、下線は原文のまま）という例を挙げ、「ブタの太っている（と一般的に思われている）体型と5の文を発した人の体型の類似性に基づき、ブタという語を〈太った人間〉を表すのにも使っている」と述べている。

また、抽象的な類似性に基づくメタファーとして、「語学力を武器に国際社会で活躍する。」（例文6、下線は原文のまま）という例を挙げ、「〈戦いにおいて（素手よりも）威力を発揮する道具〉」である武器という言葉をも例文6では、「〈ある物事を行う際に、威力を発揮する能力、手段〉という意味」で用いていると述べ、一般的に用いる武器と例文6の武器は「〈威力を発揮する（もの）〉という共通の性質を有する」としている。

初山（2002：76-79）では、メトニミーは、「参照点能力」を認知的基盤としており、隣接性と関連性の観点から説明している。

隣接性のメトニミーとしては、空間内における隣接関係に基づくもの、二つの出来事が時間的に連続して生じることに基づくもの、二つの事柄が同時に生じるもの、関連性のメトニミーとしては、本来〈もの〉を表す語で、〈そのものに関わること〉を表すもの、〈ある人〉と〈その作品〉が密接な関係にあるということに基づき、本来、〈人〉を表す語で〈その人の作品〉を表すものに分類している。

空間内における隣接関係に基づくメトニミーとしては「一晩で一升瓶を

飲み干してしまった」(例文25、下線は原文のまま)という例を挙げ、「〈一升瓶〉と〈酒〉が現実世界において隣接していることに基づき、本来〈一升瓶〉を表す「一升瓶」という語が〈酒〉を表している」と述べている。

二つの出来事が時間的に連続して生じることに基づくメトニミーの例としては、「お手洗い」という語を挙げ、「お手洗い」が〈用便(するところ)〉という意味を表すと述べている。二つの事柄が同時に生じるメトニミーの例としては「人前で話す、つかたくなってしまう」という例文の中の「かたい」が〈人間が精神的に緊張した状態にあるさま〉を表すが、それは、「通常、精神的に緊張しているときは、筋肉などがカタくなる」ということに基づいており、〈(肉体などが)物理的にカタイ〉ことと、〈精神的に緊張した状態〉が同時に生じることにより、基本的には前者の意味を表す「かたい」という語が後者の意味まで表せる」としている。

本来〈もの〉を表す語で、〈そのものに関わること〉を表すものとしては、「Aさんは本当に酒が好きだ。」(例文32、下線は原文のまま)という例を挙げ、通常「酒を飲むことが好きだ」ということを表し、酒という本来〈もの〉を表す語で〈そのものに関わること〉を表すと述べている。〈ある人〉と〈その作品〉が密接な関係にあるということに基づき、本来、〈人〉を表す語で、〈その人の作品〉を表すメトニミーとしては「モーツアルトを聞く。」(例文35、下線は原文のまま)という例を挙げ、「モーツアルト」という語で〈モーツアルトの人の作品〉を表しているとし、〈ある人〉と〈その人の作品〉が密接な関係にあるということに基づき、本来、〈人〉を表す語で、〈その人の作品〉を表すことができると述べている。

#### 4. 分析

本節では、「もつ」を17の別義に分け、考察する。まず、分析結果であるそれぞれの別義を示した上で、例文を挙げ、説明していく。

別義1 (基本義<sup>(注5)</sup>): 〈人や動物が具体物を手にとる〉

1. 風野は伝票を持って立上った。
2. 注射器のキャップを取って、左手の親指と人指し指で皮膚をつまみ、右手で注射器を持ちます（持ち方は鉛筆を持つ要領）。
3. 手紙を出そうと思い、ペンを持ったが、何をどう書いていいかわからなかった。
4. リスが栗を食べる時は、どんぐりと同じ食べ方をします。両手でしっかりもって、殻を向いてから食べます。（原文のまま）(<http://リス.xyz/archives/165>)
5. 上手に持って食べる姿が可愛いパンダ。（<https://pandanocoto.com/article/980>）

別義1は、もともと動作主の手中以外に存在した物体を手首から上の部分、特に指を使って、手の中に移動させる動作である。例文1では伝票、例文2では注射器、例文3ではペンが、もともと手中以外に存在し、それを動作主が手でとりあげ、手の中に移動させ、手中に存在させるのである。手と指を身体に有する動物も主体となりうる。例文4では、リス、例文5では、パンダが動作の主体である。本稿では、これを基本義と考える。

別義2：〈人が具体物を保持する〉

6. たけしは、虫とりあみをもってくすのきのとちゅうにしがみついていたが、ふとっているの、なかなか上のほうまでのほれないでいた。
7. 今朝、集合場所の地元駅に集まった時、百合さんだけ、大きな紙袋を持って現れた。
8. 相良が出ていったのと入れ違いに、刑事が電報をもってはいってきた。

別義2は、動作主が手に取った物体を、放すことをせず、その状態を維持することである。別義1で手にした物体が、そのまま手中にある状態を継続するのである。時間的に隣接していることにより別義1から派生した

意味である。

別義3：〈人が具体物を携帯する〉

9. 僕は居間のソファーに彼を座らせ、お茶を出した。彼は名刺を持たないことを詫びた。
10. お天気お姉さんが「帰りが遅くなる人は、念のため折り畳み傘を持った方がいいですよ」とコメントしてくれると情報が生きてくるわけだ。
11. 通帳と届出印鑑を持って、最寄の支店に行ってください。

別義3は、別義1で手にとった物体を、身に着けたり、鞆の中などに入れ、携行することである。別義3は別義2と違い、物体は手の中になくてもよい。物体を手に取り、体に密着させたり、入れ物に入れるなどして、出かけるのである。別義3は時間的に隣接していることにより別義1から派生した意味である。

別義4：〈人や動物が体の一部として器官を有する〉

12. 西郷さんは色白で眉毛濃く黒目がちの大きな瞳を持った雄渾な美丈夫だった。
13. パンダは硬い竹を消化する胃と、噛み砕く歯を持ち、それでたいいていものは食べることができるのだ。
14. ミミズのようにいくつも心臓を持っている生き物も居ますしね。

別義4は、人や動物が瞳や歯や心臓などの臓器や器官を身体に備えることである。別義3は、人が具体物を携帯するという意味だが、別義4はこれに類似している。類似性により、別義3から派生したと思われる。

別義5：〈人・組織が具体物を所有する〉



15. 彼はエディンバラからさらに北に行った海沿いに別荘を持っていて、大きなヨットもあると言う。
16. 専用のテレビを持っているのは東京の小学生で22%、中学生で33%であるが、専用のテレビを持っている者の方が平均視聴時間がいくらか長い。
17. 善い友を持つというのはなかなか容易ではありません。
18. 子どもを持って働く場合、まわりの人たちに支えてもらうことも、時には必要です。
19. 第1章で見たように現在ではチェーンストアの86.5%が何らかの形で物流センターを持っている。
20. 日本の日産自動車もアメリカに工場を持ち、ブルーバード一車種を年間一千台前後生産している。
21. たとえば日本が航空母艦を持つことを政府も国民も合意したとしても、実際に持てるのは十数年先です。

別義5は人が物体を所有することである。ここで、所有とは何かを考えてみる。「Aさんがある物を所有する」ということは、「ある物がAさん以外に属することを否定すること」である。例文15では被所有物が、別荘、例文16では専用テレビとなっている。また、被所有物は物以外に例文17、18のように人の場合もある。家族や友人など家族に準じるものが被所有物となる。また、人の集合体である組織が所有する場合もこれに含まれる。例文19ではチェーンストア、例文20では日産自動車、例文21では日本が主体である。

別義5は、手になかったものが手中に存在することになるように、動作主の所有していないものが動作主の所有物になることを表す。これは類似性により別義1から派生したと考えられる。

別義6：〈人が感情を有する〉

22. 動物は、愛情を持って生涯を終えるまで飼うことが原則です。
23. では現在のアサヒビールに問題はないのか。赤裸々に言うと、私は大きな危機感を持っている。
24. 要はお年寄りに、「まだまだ自分も役に立っている、この家に必要な人間なんだ」との気持ちを持ってもらうことが大切なことなのである。

別義6は人が感情を有することである。別義5では、具体物であったが、別義6では、有するものが感情になっている。別義5も別義6も何かを所有する点では共通である。別義6は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義7：〈人が思考した結果を有する〉

25. 日頃から防災の意識を持ち、家庭や地域で災害時の約束事を確認しておきましょう。
26. 日本でも、必ず人材派遣業が合法になる時代がやってくるとの確信を持っていた。
27. しかし、手術時間が長かったことに疑問を持ち、本当のことを教えてくれと医者にせがんだ。

別義7は人が思考した結果、有するに至った意識や確信や疑問などを有することである。別義5の具体物が、別義7では思考の結果になっている。別義5も別義7も何かを所有する点では共通である。別義7は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義8：〈人が力・権力を有する〉

28. まず全国民の個人情報を一元管理することで、国は何らかのパワーを持つことになる。

29. 業界で、“抗生 VIP” と呼ばれる人たちがいる。抗生物質の治験に絶大な影響力を持つ学会のボスたちのことである。
30. 直轄都市は、北京、上海、天津、重慶である。直轄都市は、省と同じ権限を持っている。
31. 圧倒的な議決権を持った株主が反対すれば、株主総会で普通決議事項すら通らない。

別義8は人がパワーや影響力や権限や議決権などを有することである。別義5の具体物が、別義8では力・権力になっている。別義5も別義8も何かを所有する点では共通であることから、別義8は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義9：〈人が能力を有する〉

32. よく知られているように、ドイツには、すばらしい技術を持った職人を讃える「マイスター」という称号がある。
33. 動物プロダクションを営む一家の息子、小川哲夢は、象の心が読める特技を持つ。
34. クラブには、選手のスカウトに関しておそらくイタリアでナンバーワンの手腕を持つマリーノ SD がいる。

別義9は人が技術や特技や手腕などを有することである。別義5の具体物が、別義9では能力になっているが、何かを所有する点は共通している。別義9は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義10：〈物が性能を有する〉

35. パソコンでテレビを録画出来る機能を持つ機種とただのパソコン。どちらを買うほうがお徳でしょうか？

36. 場合によっては、ちょっとした出費で、昔のパソコンが最新のパソコンと同等の性能を持てるわけですから、願ったり叶ったりです。
37. シャッタースピードは絞り値と同じく、光量を調節する働きを持つ。
38. もちろん、カレラGTもSLRも驚くべき性能を持つクルマだ。

別義9は人が技術や特技や手腕などを有することであったが、別義10では、人が能力を有するように機械に代表される物が機能や性能や働きを有するのである。人が能力を有することと、機械が性能を有することは類似している。別義10は類似性に基づき、別義9から派生した意味だと考えられる。

別義11：〈人が資産を有する〉

39. しかし大会社の経営者から見れば、数億円の株を持っている人間でも、ちょっと大きめの株主にすぎません。
40. 大きな資産を持っていれば税金対策も必要になってきます。
41. 自分の給料を貯めて将来は不動産を持ち、大家さんになりたいと思った。

別義11は人が株、資産、不動産などの富を有することである。別義5の具体物が、別義11では有するものが資産になっているが、人が何かを所有する点は共通である。別義11は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義12：〈人が方法・手段を有する〉

42. 男性も女性もなにかと生きにくいこの世の中、あなたは心地よく生活する術を持っていますか？
43. 確かに、自分の好みの“動く個室”は気分も格別であろうし、好き

なときに好きな場所に移動できる手段を持っていることは何かと安心だ。

44. こっちは切り札を持っているんだからね。

別義12は人が手段、方法などを有することである。別義5の具体物が、別義12では方法や手段になっているが、何かを所有する点は共通である。別義12は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義13：〈人が文字・文化・歴史を有する〉

45. 独自の伝統と文化を持つスコットランドの首都、エディンバラは、エディンバラ城を代表に、15世紀から18世紀までの建築物が数多く残り、中世を髣髴とさせる街並みで知られる古都だ。
46. 日本は孤立した他国から遠い島でもなく、高い文明を持った大陸とのつきあいができる距離にありました。
47. 長崎・丸山一。長い歴史を持つ歓楽街である。

別義13は人が文字や文化や歴史などを有することである。別義5の具体物が、別義13では人の知的活動によって造り出されたものになっている。具体物と知的活動の結果の創造物という相違はあるが、何かを所有する点は共通である。これは類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義14：〈人が物事を担当する〉

48. その修行期間を経て、今年1月から担当得意先を持つようになった。
49. もしポールセン スコーンというシューズブランドを知っていたら、かなりの靴好きだろう。1890年に英国で誕生し、ビスポークメーカーとして多くの顧客を持っていたブランドだ。

50. 私の愛する駿台予備学校での担当時間数は年々うなぎ上りに増え、私は公立学校の先生の倍近く授業を持っています。
51. わが校の場合、女教師は何年たってもクラスを持たせてはもらえません。

別義14は人が得意先、顧客、授業、クラスなどが、動作主以外に属するのではなく、動作主に属することを表している。別義5は、ある物体が動作主以外の所有物であることを否定し、動作主に属することであったが、別義14はある事柄が動作主体以外に属することを否定し、動作主に属することである。別義5は物体、別義14では、抽象的な事柄になっているが、何かが動作主に属することという点は共通である。別義14は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義15：〈人が費用を負担する〉

52. しかし、作品を送った所、出版するには本人が多少費用を持たなければいけないと言われました。
53. だからあんたが情報料代わりに私のぶんの旅費を持つわけ。情報提供には対価がつくのが当たり前、世の中タダで手に入るものなんてないわよ。
54. 「ある人が、僕たちへのお礼として、ホテル代を持ってくれてるから、あんなホテルへ泊ってるんだ。自分の金じゃ、インペリアルなんて、とても無理さ。しがない警官だからね」
55. でも、出品者が思ったより高く売れたそうで、送料を持ってもらえる事になったのですが、いいのでしょうか？

別義15は人が費用や旅費やホテル代などの金銭的負担が、動作主以外に属するのではなく、動作主に属することを表している。別義5は動作主以外の所有物であることを否定し、ある物体が動作主に属することであった

が、別義15はある事柄にかかる費用が動作主以外に属することを否定し、動作主に属することを表している。物と費用の違いはあるが動作主に属することを表しているのは共通である。別義15は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義16：〈生物・物・事柄・場所が生物・物・事柄・場所と関係を有する〉

56. 実は、りに限らず当時の洋画家は、さまざまな形で版画、印刷に関わりを持っている。
57. 南インドのヒンドゥー教は多くが山岳地帯と密接な関係を持っている。
58. 茶道は時宗や律宗と深いつながりを持っていました。
59. 血液型を決定している遺伝子が性格に何らかの関わりを持っている可能性はあります。

別義16の主体は、上の例文のように人、宗教、茶道、遺伝子など様々であり、その主体と関係を有するものも、版画、印刷、山岳地帯、時宗や律宗、性格など様々である。関係を有することは、属することに類似している。別義16は類似性に基づき、別義5から派生した意味だと考えられる。

別義17：〈人が機会を設ける〉

60. 後日、関谷院長は、千田さんとゆっくり話をする機会を持った。
61. 一日2回は無理としても、シャワーですまさず、できるだけお湯にかかる時間をもつことが美しさへのステップ。
62. 週一だろうと総理と定期的に会って、差して話せる時を持てること自体、特権以外の何ものでもなかった。

別義17は、別義1からの拡張であると考えられる。もともと動作主の手中に

なかった物体を手にとるように、もともとは存在しなかった機会や時間などを動作主が存在させるのである。別義17は、類似性により、別義1から派生したと思われる。

## 5. 「もつ」の多義構造

本稿で明らかになった別義を以下に再掲し、図によって多義構造を示す。

### 5. 1 「もつ」の別義

別義1（基本義）：〈人や動物が具体物を手にとる〉

別義2：〈人が具体物を保持する〉

別義3：〈人が具体物を携帯する〉

別義4：〈人や動物が体の一部として器官を有する〉

別義5：〈人・組織が具体物を所有する〉

別義6：〈人が感情を有する〉

別義7：〈人が思考した結果を有する〉

別義8：〈人が力・権力を有する〉

別義9：〈人が能力を有する〉

別義10：〈物が性能を有する〉

別義11：〈人が資産を有する〉

別義12：〈人が方法・手段を有する〉

別義13：〈人が文字・文化・歴史を有する〉

別義14：〈人が物事を担当する〉

別義15：〈人が費用を負担する〉

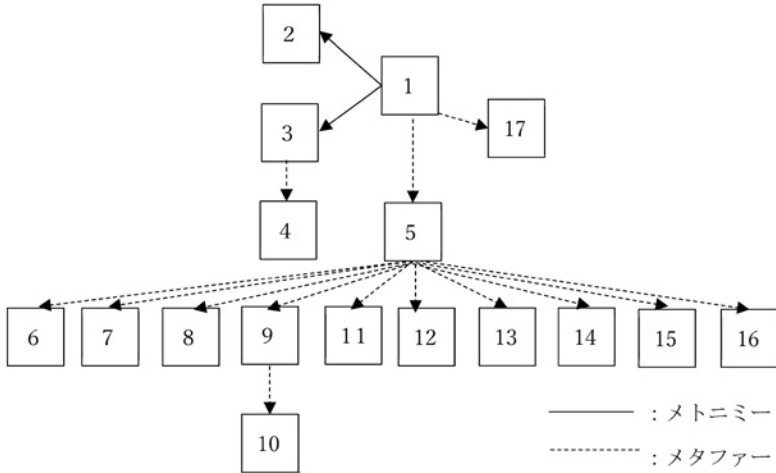
別義16：〈生物・物・事柄・場所が生物・物・事柄・場所と関係を有する〉

別義17：〈人が機会を設ける〉



## 5. 2 「もつ」の多義構造図

「もつ」の多義構造の図を以下に示す。



## 6. おわりに

本稿では「もつ」の意味分析を試みた。分析結果に基づき、17の意味を提案した。17の意味は、手に取ったあと、それを保持する動作と所有の2つに大きく分けられることが明らかになった。

また、別義1を派生の起点として、メタファー、メトニミーにより16の意味が派生していることがわかった。

今後は、本稿で扱うことができなかった、「もつ」を含む熟語や、分析対象外とした自動詞「もつ」の分析をすることで、「もつ」の全体の意味を明らかにしたい。

## 注

- 1 多義語について国広(1982:97)は次のように定義しており、本稿でもこれに従う。  
 「多義語」(polysemic word) とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結びついている語を言う。

- 2 語義1、5、6、7、11の解説に用いられている。
- 3 「生物」と「動体」、「無生物」と「静体」は重なる部分が多いが、原沢（1991：99-100）では「動体」は「意志を有すると認識されるもの」、静体は「意志を有しないと認識されるもの」としている。「動体」について「三越百貨店が今度ピカソの特別展示会を行う」という例文を挙げ、「一見無生物であっても、そこに動作性が認められる場合は「動体」とみなされるのだらう」と説明している。「静体」については「牧場の田中さんは牛を50頭持っている」という例文で「ここにおける牛とは田中さんにとって生活を支える手段であり、生きている動物というより一種の商品と見なすことができるからである。その為に、「静体」と認識されるのであろう」と述べている。
- 4 国広（2006：267）の問題点と、一般辞書の問題点の記述の一部が共通している。それは本稿で扱った一般辞書と国広（2006：267）がもとにして分析を行ったのが、ともに『明鏡国語辞典』であり、前者は、第二版を後者は初版を用いていることに起因している。初版も第二版も語義、用例ともに全く同じ記述がなされている。
- 5 本稿ではプロトタイプの意味を基本義という語で表した。初山（2002：107）では、プロトタイプの意味を「複数の意味のなかで最も基本的なもののことであり、基本的であるということは、最も確立されていて、中立的なコンテキストで最も活性化されやすい（想起されやすい）といった特徴を有すること」と述べている。

## 引用文献

- 北原保雄編（2002）『明鏡国語辞典 初版』，大修館書店  
北原保雄編（2010）『明鏡国語辞典 第二版』，大修館書店  
国広哲弥（1982）『意味論の方法』，大修館書店  
国広哲弥（2006）『日本語の多義動詞－理想の国語辞典Ⅱ』，大修館書店  
見坊豪紀，金田一京介，金田一春彦，柴田武，市川孝，飛田良文編（2001）『三省堂国語辞典 第五版』，三省堂  
古岩井嘉容子（1993）「動詞〈持つ〉は所有の意味だけか？」『人文研究』118号，pp.1-28，神奈川大学人文学会  
原沢伊都夫（1991）「所有の意味を有する「持つ」の一考察」『日本語教育』73号，pp.98-108，日本語教育学会

- 由井紀久子（2000）「日本語における所有表現の意味」『日本語 意味と文法の風景 一国広哲弥教授古希記念論文集一』ひつじ書房, pp.115-124
- 羽山洋介（2002）『認知意味論のしくみ』町田健（編）（シリーズ・日本語のしくみを探る⑤），研究社

## Web 辞書

- 国立国語研究所『基本動詞ハンドブック』（<https://verbhandbook.ninjal.ac.jp/>）  
「持つ」（<https://verbhandbook.ninjal.ac.jp/headwords/motsu/>）

## 用例出典

本稿の用例は基本的に以下のコーパスで収集した。

KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」（<http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/>）

上記以外で収集したものについては URL を示した。

（ふじもり ひでみ・非常勤講師）

